**第１号議案**

**公共交通市民アンケート結果について**

公共交通市民アンケート結果について、下記のとおり報告する。

**１　実施方法**

　　「公共交通（鉄道・バス・タクシー）に関する住民アンケート調査」のとおり。

　　（議案参考書１、１ページを参照）

【調査時期】2024 年 7月～ 8月

【調査対象】1,200 人（無作為抽出）

【調査方法】［配布］郵送［回収］郵送または WEB 回答

【回収数】364 人（回収率 30.3％）

**２　アンケート結果**

　　「公共交通（鉄道・バス・タクシー）に関する住民アンケート調査」のとおり。

　　（議案参考書１、１ページから４０ページを参照）

　　【免許、自動車の保有状況】

回答者のうち、免許を持っている方の比率は約70％、世帯に自動車が1 台以上ある比率は約80％となっている。

　　【外出状況について】

外出目的は買い物、通勤が多く、移動手段も全体として自動車が過半数を示している。

【公共交通の利用状況】

鉄道、バス、タクシーの利用頻度は、前回調査結果からほぼ変化はない。

【公共交通の今後、求められる取組みについて】

・公共交通への今後の展望は、「近い将来、事業者の運営状況が悪化し、市内の公共交通は不便になると思う」が主な見解となっており、そのような公共交通に対し、「財政支援を拡大し、公共交通の利便性を高めるべきである」という意見が多くなっている。

・回答者が主に必要とした取組み

高齢者や免許返納者の移動を支援する取組み

居住地に関係なく、市民に対して等しく移動を支援する取組み

従来の鉄道、バス、タクシー以外の新たな交通手段

子どもや子育て世代が移動しやすい環境